



## お兄さんお姉さんになった2年生 1年生に 学校案内大作戦！ 大成功！

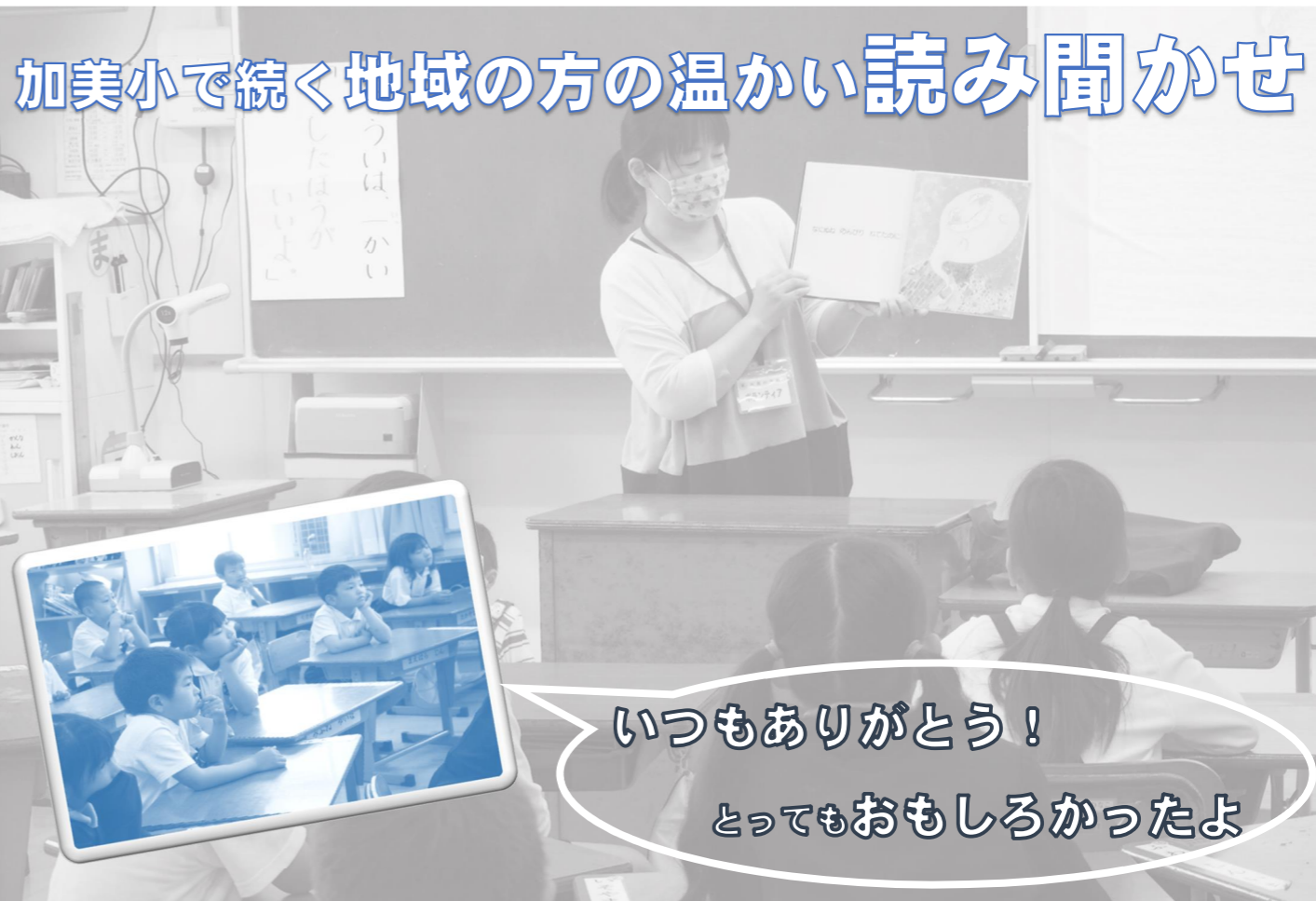


挑戦と愛のある学校

2年生は、1年生が入学してはりきっています。入学してきた1年生に学校を案内するために、学校内のあちこちの教室を調べ、自分たちで準備を進めました。

校長室を調べているグループは、生活科の時間に「校長先生、お話を聞いていいですか？」と訪ねてきて、「校長先生はどんな仕事をしているのですか？」「校長室はどんなことをするお部屋ですか？」と私にいろいろと質問をしました。それに答えると、しっかりメモをし、「ありがとうございました」と丁寧に礼。

そして、教室にもどって他の教室を調べたみんなと、どのグループも案内できるように「教室せつめい書」をつくり、1年生が楽しめるクイズも考えました。案内当日の日には、1年生とグループになってしっかり案内ができていました。たくましく育っている2年生です。



いつもありがとう！  
とってもおもしろかったよ

加美小学校には、「読み聞かせボランティア」グループの方々も、長年にわたって子どもたちに絵本や本を読んでくださっています。5月には、4年～6年生に、そして6月6日には、1～3年生に、3名の方が読み聞かせに来てくださいました。1年生では、読んでおもしろい絵本、見て面白い絵本など 色々なタイプの絵本を読んでくださり、子どもたちも熱心に聞き入ったり、楽しそうに反応したりしていました。2年生、3年生も学年に応じた楽しい本を読んでいただきました。子どもたちにとってとても楽しい時間になっています。

## 学校と保護者が連携して 学ぶ力を子どもたちに！

### 第1回 宿題編 場所はどこでしていますか？

A. 子ども達に聞いてみた 宿題している場所は？

- ① 食卓で
- ② リビングで
- ③ 自分の部屋の勉強机で
- ④ ころころ変わる
- ⑤ 児童館



タイムタイマーや100均でも売っている読書台もよいアイテムです

有名な調査ですが、東京大学に行っている子の多くが宿題をしていたのはどこだと思いますか？なんと、①②が多かったようです。食卓やリビングは、今日一日あったことをおうちのひとと話をしたり、わからないところを聞いたりするのに、きっと安心な場所なのでしょう。それに終わったら「がんばったね」と言ってもらえます。

「場所にはまる」ということは、大切なキーワードのようです。宿題を「やればよい」というのではなく、「どのようにやっているか」にこだわっていただくと、中学生になっても「自分で勉強ができる子」に育ちます。勉強にはまる場所やアイテムを取り入れることも習慣づけにはいいということです。

どんなことにも、子どもが「やり続ける」ためには脳に「ドーパミン」という物質が流れることが必要です。これは、「快」を感じてでできます。「夢中」「わくわく」「どきどき」の感情です。ゲーム中毒もこの「ドーパミン」が脳からでるせいですので、勉強でもうまくいくと「勉強中毒」なんてこともあるかもしれません。勉強ができるだけではいけません、学ぶことを習慣にできる力は、幸せにもつながる大きな力となります。「よくがんばったね」とほめてもらうのも、実は「ドーパミン」のやる「快」になります。

勉強を「快」に変えるためには、おうちの人の関わりが大切です。

### 縦割りグループで「体カテスト」



クラブ立ち上げプレゼンテーション  
「ぼくたちの作ったクラブ入ってくださ〜い」

5月には、プール掃除など様々な行事がありました。コロナ対策も緩和され、家庭科の調理実習や音楽のリコーダー学習など、子どもたちの日常がもどってきています。

そんななか、高学年がリーダーとして学校をよくリードしてくれています。クラブ活動では、6年生が自分たちでいくつかのクラブを作り、プレゼンをして4年生5年生に入ってもらいました。集まった人数が少なかったクラブは、立ち上げられませんでした。たった一人で立ち上げて、多くの人に入ってもらったクラブもありました。一番多い人数になったのは、「生き物クラブ」です。「動画作成クラブ」もあります。それぞれのクラブは、みんなが楽しんでくれるよう6年生がいろいろアイデアを出し進めています。

そのほかにも、「体カテスト」では、1年～6年の縦割りでも助け合いながら、立ち幅跳びや握力、上体起こしなどの測定を行いました。結果はまたお知らせしようと思っています。